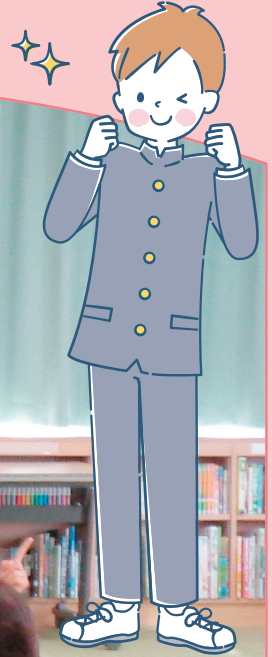


輝く!

紀の国の教育

第51号

Wakayama Prefecture Education Public Relations Paper | 令和6(2024)年7月



P2-3
 特集
 特別支援学校における
 交流及び共同学習の推進

和歌山北高等学校(西校舎)図書部員と和歌山さくら支援学校小学部児童との交流

目次

- P4 … 学校での取組
 田辺市立上芳養小学校
 「かみはやキャラバン」
 輝く!紀の国の先生
- P5 … きのくに教育めぐり(有田市)
- P6 … 展示・イベント

地域との つながりを大切に

～特別支援学校における
交流及び共同学習の推進～

本県では、地域とのつながりを大切に、障害のある子どもにとっても、障害のない子どもにとっても、互いに経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むことをめざす、交流及び共同学習の取組を進めています。



交流及び共同学習の推進は、障害のある子どもと障害のない子どもが可能な限り共に学ぶことを追求するインクルーシブ(=すべてを包み込む)な教育環境の充実に向けて、本県が掲げる第4期和歌山県教育振興基本計画「特別支援教育の充実」においても重要な取組のひとつとして示しています。

特別支援学校における交流及び共同学習の取組には、子どもたちが普段暮らしている地域の小学校や中学校との間で行われる「居住地校交流」と、特別支援学校の近くにある小学校や中学校、高等学校等との間で行われる「学校間交流」があります。

居住地校交流は、学校行事をはじめ一部の教科で活動を共にする直接的な交流だけでなく、作品の交換やインターネット等を活用した間接的な交流も含まれます。

交流の実施にあたっては、子ども本人や保護者の意向を丁寧に確認しつつ、目標やねらいを明確にするなど、互いの学校が年間の計画に適切に位置づけ、事前学習や事後学習なども大切にしながら取り組んでいます。

特別支援学校に在籍する子どもたちの多くは、スクールバス等により居住地域にある小学校区や中学校区を越えて通学しています。

学校は、すべての子どもの未来を育む場所です。県教育委員会では、すべての子どもたちが同じ地域の仲間として、楽しく学び合い、よりいっそうお互いを理解し合う機会となるよう、これからも交流及び共同学習を推進していきます。



高校生段階では、新たな取組がスタートしています。



県立きのかわ支援学校 × 県立伊都中央高等学校



橋本市にある、きのかわ支援学校の高等部と伊都中央高等学校では、「地域の方に喜ばれる」をテーマにコラボカフェの開店を目指し、協議を進めています。

高校生同士交流を深めながら、メニューを考案したり、地産地消やSDGsについて考えたりしていきます。

お客様とのやりとりを通して、コミュニケーションの力を高め、人の役に立てる喜びを感じられるように取り組んでいます。

県立たちばな支援学校 × 県立日高高等学校中津分校

広川町にあるたちばな支援学校の高等部スポーツクラブと日高高等学校中津分校硬式野球部では、ソフトボールを通じた交流を行っています。

準備運動、ストレッチ、ペアになったのキャッチボール等、高校生同士一緒になって汗を流しています。

今後、和歌山県高等学校野球連盟と連携して、高等学校との交流を進めていきます。



県立和歌山さくら支援学校 × 県立和歌山北高等学校

和歌山市にある和歌山さくら支援学校では、和歌山北高等学校西校舎と隣接しているという立地条件を生かし、様々な交流を展開しています。

小学部の児童や中学部の生徒には、高等学校図書部員による読み語りや水泳部員による泳法指導、高校生同士の交流では、硬式野球部との応援旗の交換や体育祭・文化祭への参加等、その活動は多岐にわたっています。



学校卒業後においても、様々な人々と共に支え合う機運を高め、すべての人々が積極的に社会参加できるよう、今後も交流及び共同学習の取組を進め、障害の有無に関わらず、誰もが相互の人格と個性を尊重し合える共生社会の実現をめざします。



かみはやまるごとワクワクしようぜ! 「かみはやキャラバン」

「私たちのふるさとのミライを もっとポジティブに!」

私たちの学校は梅畑やみかん畑に囲まれています。全校児童は68人で兼業・自給的農家を含めると、なんと100%が梅農家! おうちの手伝いで「落ち梅拾い」をするなど梅と共に生活しています。学校でも梅についての学習は3年生から始まり、その集大成に自分たちで梅干しを作り修学旅行先で無料配布します。

この「梅配り」をさらなる学びの機会にアップデートしようという思いから、「かみはやミライ塾」(※1)での熟議を通して「かみはやキャラバン」が生まれました。そして、不動産や映画館経営を手掛け、白浜町にも拠点を持つオーエス株式会社(本社:大阪市北区)さんの協力で、大阪・梅田地区でのイベントが実現。小学校に加え、中学校・町内会・公民館・地域の事業者などが協力し、5月26日に最初のイベント「かみはやキャラバン 梅田でうめ〜!2024」を開催しました。



イベント終了後、オーエス株式会社本社にて参加者全員でパシャリ!

このイベントを通して、私たち地元の新たな魅力を再発見することができ、ミライをポジティブに捉えるきっかけになりました。今後も、さまざまなイベントを通して上芳養の魅力さをさらに広めていきたいと考えています。



キャラバンの活動はコチラ



都会の真ん中で落ち梅拾い!?



上/400個準備した梅が25分で配布終了(梅田にて)

左/中学生による梅シロップ作り体験ワークショップ

※1 上芳養地区のこどもたちが、地域、学生、民間など、幅広い外部人材とともに、熟議し、共働し、上芳養の新たな価値を見出し、発信する活動を通して、地域に貢献する意欲や、今後の予測不可能な社会を切り開く創造性を高め、育むための活動です。

きのくにの教育めぐり



有田市教育委員会

有田市は、二級河川・有田川の河口に位置し、川を挟んだ両岸にはミカン栽培の段々畑が広がります。海の幸も豊富でタチウオが特に有名。また、熊野古道が縦断し、中将姫ゆかりの地・得生寺や、須佐神社など歴史深いまちでもあります。

階段の先には白馬の像が見えるよ!



須佐神社

教育長挨拶

有田市教育委員会 教育長 前田悦雄

有田市では「次代を担う人材育成」と「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」を実現するために、認め合い、学び合い、郷土を愛することの育成を図っています。

また、集い・学び・つなげる地域の力の向上を目指して、生涯学習活動を推進してまいります。

市立有和中学校 開校

市内にあった4中学校を統合し、令和6年4月「有田市立有和中学校」(有田市箕島)が開校しました。「有和」の校名は、有田・和歌山の地名にちなむもので、「和やかに仲良く学べる学校に」という願いも込められています。

校内には、生徒同士や教員とのコミュニケーションの場としてオープンスペースを設け、多様な学びのスタイルを可能にしています。また、最新のICT機器を導入する一方、図書を充実させるなど、個に応じた学習に対応できる環境を整えました。

さらに、体育館棟には災害時に冷暖房が備わった避難所となる武道場を最上階に配置し、地域の防災拠点としての機能も担っています。

有和中学校が、こどもたち一人ひとりの豊かな学びの場となり、郷土はもちろん、さらに広い世界で活躍できる人材育成を担える学校となることを信じています。



上/正門からの外観
左/ICTを活用した授業の様子
下/オープンスペース

有田市健康スポーツ公園

BIG SMILE PARK ~からだ、こころ、満面の笑み~



サッカーフィールドと屋根付き多目的ひろば(写真奥)



正面入口

有田市では、スポーツによる市民の健康増進やコミュニティが育まれる場を創造するため、平成30年に有田市運動型健康増進総合施設基本構想を策定し、令和6年3月に「有田市健康スポーツ公園BIG SMILE PARK」(有田市初島町浜)を開園しました。本施設は、(公財)日本サッカー協会の公認基準を満たしたサッカーフィールドを有し、その他イベントなどにも利用できる屋根付き多目的ひろば、28種の健康遊具を点在させたウォーキングルート、こどもたちの運動能力を高めるアスレチック遊具やインクルーシブ遊具など、スポーツ振興や健康増進に役立てられる施設となっています。また、防災公園としての役割も担い、災害対応トイレなどを備え、発災時には主に災害復旧の拠点として役立てられます。

日々の健康づくりのため、たくさんの方々に利用いただき、人・まちの活性化につながることを期待しています。



国内最大級のスライダー

輝く! 紀の国の先生

御坊市立湯川中学校 英語科 小池 ハンナ 先生

今回の「輝く!紀の国の先生」は、御坊市立湯川中学校の小池ハンナ先生。東京で生まれ育ち、就職をきっかけに和歌山県に移住。生徒と笑顔でフレンドリーに話す姿が印象的な小池先生の魅力をインタビューを通してお届けします。



— 就職をきっかけに和歌山に来られたとのことですが、和歌山にどんな印象をもちましたか?

来たばかりの頃は職員会議などで、和歌山弁が分からないこともあり、戸惑いました。また、車の運転も慣れていなかったのが大変でした。でも、和歌山の学校に来て、東京にはない海が校舎から見えただけは感動しました。仕事中、ふとした瞬間に海を見て心が休まること何回もありました。それから、人と人の心の距離が近く、あったかい人が多いと感じます。



— 人と人の心の距離感でいうと、小池先生が生徒とフレンドリーな距離感で接していて、すてきなと感じました。

和歌山のこども達はすごく素直でまっすぐな子が多くて、壁を作らないでいてくれるのがとてもうれしいです。

授業も、一方通行ではなく双方向であってほしいので、生徒の言葉から授業を広げよう意識して、生徒とのコミュニケーションを大切にしています。チーム対抗戦のアクティビティをするなど、楽しく前向きに勉強に取り組める工夫を心がけています。

— 学校生活の中で、生徒の成長や、教員としてのやりがいを感じた出来事はどんなことですか?

悩んでいる生徒が「もうちょっと頑張ってみる」と、自分自身の力や可能性を信じて壁を乗り越えようとする姿を見た時、生徒の成長を感じられたと同時に、自分も頑張ろうという思いになりました。

また、前の学校の離任式では、担任をしていたクラスの卒業生がサプライズで集まって送り出してくれたのが本当にうれしかったです。家族のような強い絆を作り上げてくれた彼らとのかけがえのない時間を過ごせてとても幸せでした。

— 和歌山のこども達には、どんな風に育ててほしいですか?

今こども達が持っている明るさや、素直でまっすぐなところは、進学等で県外に行くことがあっても持ち続けてほしいです。私自身も外に出て挑戦することによって気づきが多くあったので、生徒にもたくさんのご経験を、その上で良い所を伸ばし、多方面で活躍する人材になってほしいです。



小池ハンナ先生、ありがとうございました!

展示・イベント

県立近代美術館

和歌山市吹上1-4-14
TEL.073-436-8690

企画展 なつやすみの美術館14

河野愛「こともの、と」

期間／7月13日(土)～9月23日(月・振休)

あらゆる世代に美術館の楽しみ方を伝える展覧会。14回目は美術作家の河野愛(かわの あい)をゲストに迎え、さまざまな「こともの／異物／異者」を当館コレクションと組み合わせて考えます。

7月20日からは学校教員とともに作成したワークシートを配布します。

河野愛《こともの foreign object》2021
撮影：増田好郎



コレクション展2024-夏 特集：旅する美術

期間／7月2日(火)～9月23日(月・振休)

所蔵作品を中心に和歌山県ゆかりの作家を軸とした近現代美術のながれをご覧くださいとともに、特集として旅と美術表現の関わりを紹介するコーナーも設けます。



川端龍子《芭蕉翁》1923
県立近代美術館蔵



神中糸子《塔の沢風景》1888
県立近代美術館蔵

県立紀伊風土記の丘

和歌山市岩橋1411
TEL.073-471-6123

令和6年度夏期企画展

「和歌山フェイクアワード」

期間／7月13日(土)～9月8日(日)

考古資料には様々な“フェイク＝実物ではないもの”が作られた。フェイクには偽物、模造品、模倣品、贋作、レプリカといった種類があり、それぞれ意味や製作背景が異なります。本展示ではこれらのフェイクについて、その歴史、背景、技術について紹介します。



箕島2号墳(有田市)玉類
(実物に1点だけ贋作が混じる)

いずれも休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)です。

県立近代美術館・県立博物館・県立紀伊風土記の丘・県立自然博物館は有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。



ようこそ、近代美術館・博物館へ!

県立博物館施設から遠く離れた地域にある学校の児童等にも、各館が保有する本物の美術作品や文化財を直に鑑賞できる機会を増やすため、近代美術館・博物館の活用促進事業を実施しています。

来館には県が手配したバスを利用し、到着後は学芸員による案内で、充実した学びの時間を楽しむことができます。

参加した児童たちは、様々な時代の芸術や文化に触れることで、豊かな教養と感性を育み、かけがえない体験を友達と共有できます。



説明つきなのでわかりやすい

県立博物館

和歌山市吹上1-4-14
TEL.073-436-8670

世界遺産登録20周年記念特別展

「聖地巡礼―熊野と高野―」

第II期展示「神仏・祖師の住まう山

―高野山上・山麓の宗教文化―

期間／8月3日(土)～9月29日(日)

※ただし8月26日(月)～30日(金)は展示替えのため休館



高野山上で育まれた信仰、宗教とあわせて山麓に広がる美術、文化を紹介します。前期(8/3～8/25)と後期(8/31～9/29)で大幅な展示替えを行います。

紀美野町指定文化財 弘法大師像
(遍照寺大師講蔵)

県立自然博物館

海南市船尾370-1
TEL.073-483-1777

特別展 よみがえるワカヤマソウリュウ

期間／7月13日(土)～9月1日(日)

場所／自然博物館レクチャールーム

有田川町から発掘された推定全長6mのワカヤマソウリュウの化石全てや、完全復元した頭骨レプリカ、生体復元画などを展示します。最新の研究結果をもとに、ワカヤマソウリュウの当時の姿や、発見の重要性について紹介します。



ワカヤマソウリュウの化石



文化遺産・文化財ポータルサイト

～ 県内の文化財を知り、学び、楽しみ、未来へつなぐ～

「わかやまの文化財」を大幅リニューアル!

和歌山県には、国宝36件(全国6位)、重要文化財396件(全国7位)をはじめ、数多くの貴重な文化財が伝わっています。

こうした文化財を未来に引き継いでいくためには、世代を問わず、多くの方々のご理解とご協力が欠かせません。

県教育委員会では、平成23年度から文化財検索・閲覧サイト「わかやま文化財ガイド」を運営してきましたが、県内の魅力ある文化財に一層親しんでいただけるよう、この度、文化遺産・文化財ポータルサイト「わかやまの文化財」として大幅にリニューアルしました。

いつでも、どこからでも、県内の文化財を知り、学び、楽しむことができますので、ご家庭や学校、地域の集まり、お出かけ先などで、是非ご活用ください。

サイトURL : <https://wakayama-bunkazai.jp/>



こども・若者に向けた オンラインアンケート調査モニターを募集

こども・若者の声を広く集め、施策に反映するためオンラインアンケート調査モニターを募集します。県内在住・通学・通勤する小学生～20代までの方が対象です。年2回程度、10分程度のアンケートを実施し、全て回答された方の中から抽選で50名様に謝礼として1,000円分の図書カードを進呈します。

(県こども未来課)

詳しくはこちら



「サマー遊ing2024」 ～遊びの中で「学ぶ楽しさ・知るよろこび」～

開催期間 7月20日(土)～24日(水) ※月曜は休館

場所 県立図書館 2階
(メディア・アート・ホール、講義・研修室 他)

和歌山の海を学びながら、ウミガメの赤ちゃんとふれあおう!他にも、おもしろ工作教室・勾玉づくり教室・こども落語寄席・らくらくピアノ教室ふれあいコンサートなどのイベントを実施し、こどもたちに学びの場を提供します。



ウミガメプリーフィング



勾玉づくり教室

県立図書館 文化情報センター(和歌山市西高松1-7-38/☎073-436-9530)

和歌山県職員(土木職)の魅力発信について

土木職の仕事や余暇活動を公開中!

県庁県土整備部では、仕事内容や実際の業務の様子、職場の雰囲気などを知っていただくため、YouTube動画を公開しています! 3～5分程度の動画ですので、お気軽にご覧ください。



動画はこちら



夏休み企画

和歌山ビッグホエール ラジオ体操10周年の集い

開催期間 7月31日(水) 8:00～9:00(開館7:30)

場所 和歌山ビッグホエール アリーナ

和歌山ビッグホエール前広場で、地域の方々と一緒に続けてきたラジオ体操が今年8月に10周年を迎えます。これを記念して



みんなでラジオ体操を楽しむイベントを開催します。夏休みの思い出に、みんなでラジオ体操をしませんか?参加無料。*参加者は上履きをご用意ください。

(公財)和歌山県スポーツ振興財団
和歌山ビッグホエール(和歌山市手平2丁目1-1/☎073-433-0035)



教育長エッセイ
みやざき いずみ
教育長 宮崎 泉

ICT活用をあたりに

～和歌山県学校教育ICTグランドデザインの推進～



私たちは日々の暮らしの中で、以前は考えられなかった利便性を享受しています。

例えば、外出先からスマートフォンを操作することで、家電製品を遠隔操作できるようになりました。また、業務用ロボットやドローンの普及により、人材確保が困難な場合でも効率的かつ継続的な事業運営が可能になっています。今や、家庭でも仕事でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっており、この情報技術を手段として学習や日常生活に活用できる力を身に付けることが、ますます重要になっています。

県では、子どもたちの情報活用能力の向上を図るため、発達の段階に応じた体系的なプログラミング教育を含む「きのくにICT教育」を、県内すべての公立学校で令和元年度から実施しています。その中で、活用スキルやプログラミング的思考などを育むよう、民間企業とも連携しながら取り組んでいます。

また、「GIGA(ギガ)スクール構想」がスタートし、県内すべての公立学校で1人1台端末の環境が整っています。環境整備から数年が経過し、授業の中で、子どもたちが端末を用いて、生き生きしながらプレゼンテーションをするという場面も多くの教室で見られるようになってきました。さらに、感染症や災害の発生等の非常時など学校に登校できない場合でも、子どもたちの「学びを止めない」ために活用されています。

新たな技術を教育に取り入れるチャレンジを続けている学校関係者の皆さんはもとより、家庭での活用にご協力いただいている保護者の皆さんのおかげで、多様な子どもたちに合った学びや創造性を育む学びが着実に進んできているように感じています。

人生100年時代、グローバル化、人口減少、消滅可能性自治体など、これからの未来を生きていく子どもたちは、これらの大きな社会の変化に直面していかななくてはなりません。特に本県は、半島の先端に位置しており地形的には不利な地域ですが、ICTを活用すれば、不利な条件を払拭し、社会が変化していく中で飛躍できる可能性が大いにあります。

こうしたことを踏まえ、県では令和6年2月に、学校教育の情報化とデジタル化に係る方向性を示す、「和歌山県学校教育ICTグランドデザイン」を策定しました。

このグランドデザインでは、子どもたちや教育に関わる全ての方が、快適に利用できるインターネット環境の整備や正しい情報モラルを身につけるために取り組むべき施策をまとめています。これらの施策を着実に実施し、社会の宝ともいえる子どもたちが、夢や希望を抱いて成長し、ふるさと和歌山が飛躍する担い手となるような基盤を作っていくしたいと思います。

本編はこちら



TOPICS

高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)制度について

高校生等の授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)を給付します。

安心して勉強できるために

令和6年7月1日現在、以下の要件を全て満たしている方(世帯)

- ① 高校生等が高等学校等就学支援金又は学び直し支援金の対象である学校に在学していること
- ② 保護者等が生活保護を受給(生業扶助を措置)又は、令和6年度の道府県民税所得割の額と市町村民税所得割の額とを合算した額が0円(非課税)であること、若しくは家計が急変し、非課税相当となっていること
- ③ 保護者等が和歌山県内に住所を有していること
- ④ 高校生等が高等学校等就学支援金又は学び直し支援金支給の資格を有する者であること

申請方法

● 県内の学校へ通学されている方

→ 学校を通じて提出

通学されている学校で申請書を受け取り、必要書類を添付のうえ学校へ提出してください。

● 県外の学校へ通学されている方

→ 和歌山県へ直接申請

申請書は下記問合せ先(公立と私立により異なる)で直接入手するか、郵送を希望される場合、下記問合せ先までその旨連絡してください。申請書等は下記ホームページからダウンロードも可能です。

- ホームページ { **[公立]** <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500600/d00153447.html> / **[私立]** <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022100/gakkou/kyuhukin0.html> }

- 問合せ先 **[公立]** 県生涯学習課 奨学班 ☎073-441-3728 / **[私立]** 県文化学術課 学術振興班 ☎073-441-2098



TOPICS

和歌山県教育委員会から補充講師登録のお知らせ

和歌山県では、講師登録者を募集しています。学校で勤務してみたい方はぜひご登録ください。

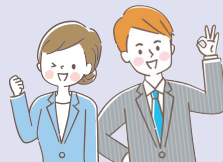
- 募集区分：常勤講師、非常勤講師
- 応募資格：それぞれに必要な資格・免許を有する方
- 応募書類配布：和歌山県教育委員会教職員課のWEBサイト



求む！
熱意のある先生

- 問合せ先 小中学校希望 { 紀北(有田地方以北) → 紀北教育事務所 / 紀南(日高地方以南) → 紀南教育事務所 }
県立高校・特別支援学校希望(全県) → 教職員課

申し込みは上記各所まで応募書類を郵送もしくは持参のこと



県教委 SNS について

このたび公式Instagramアカウントを開設しました! 県の教育施策や学校活動など、教育に関する最新情報を発信していますので、ぜひチェックしてみてください。



フォローと「いいね!」をお願いします!

RYOIKU_WAKAYAMA

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取組を行っています。詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております。

和歌山県教育委員会



この印刷物は地球環境にやさしい植物性インキを使用し、ユニバーサルデザインの考え方で作られています。